

漢方
とニキビ

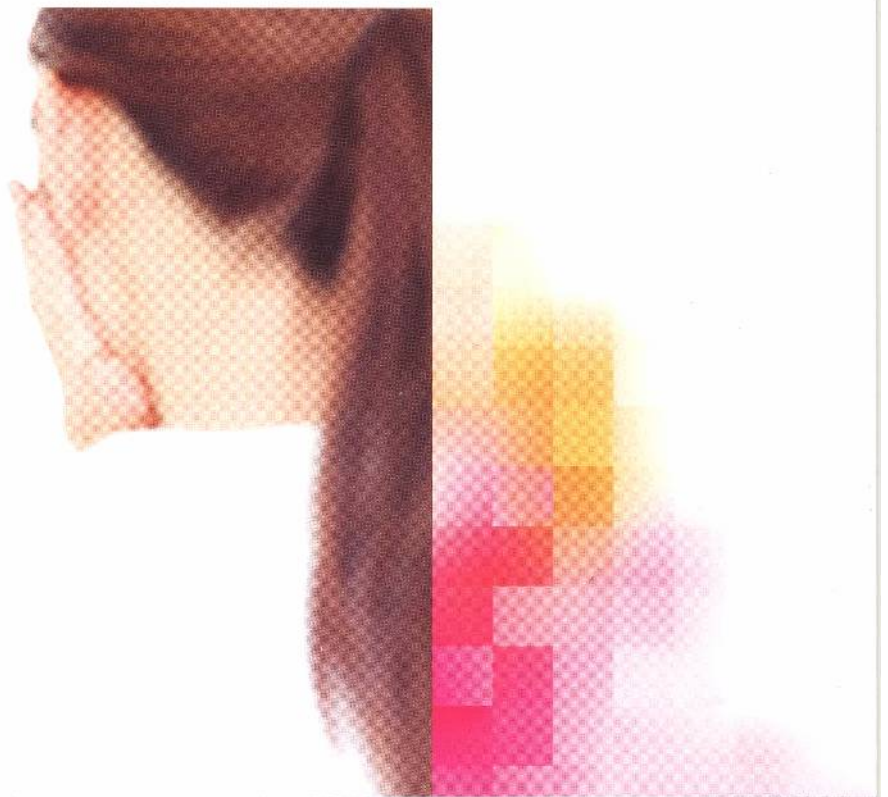
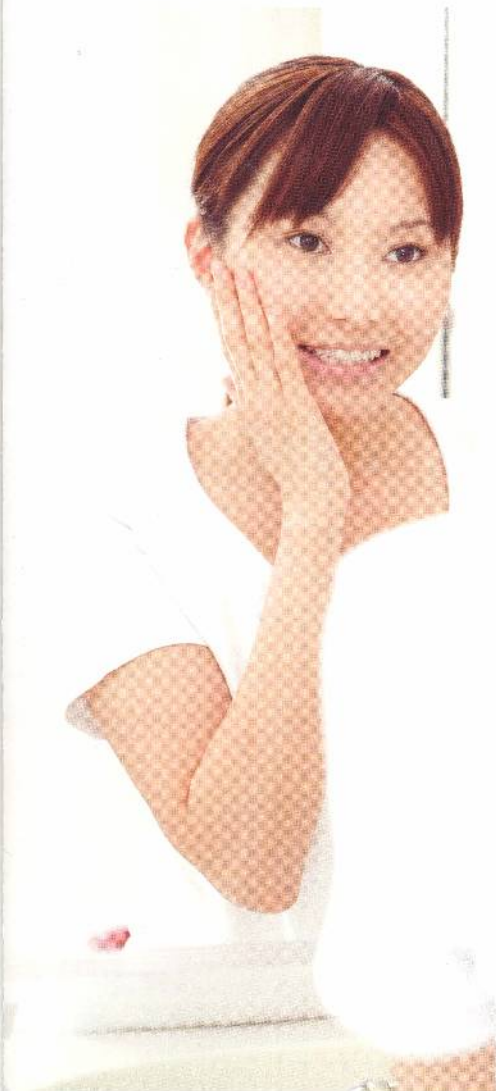
①

皮膚科疾患

尋常性痤瘡(ニキビ)治療と 漢方の適用

監修

日本医科大学 准教授 幸野 健



 株式会社 ツムラ

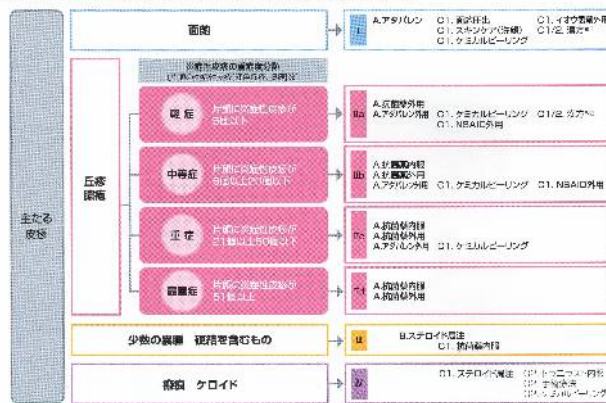
荊芥連翹湯は、尋常性痤瘡治療ガイドラインで、重要な選択肢の一つとして推奨されています。

※19 日本医科大学 准教授 幸野 健

尋常性痤瘡治療ガイドライン2008¹⁾

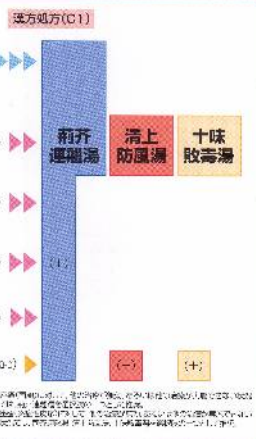
治療アルゴリズム

※19 日本医科大学 准教授 幸野 健



- エビデンスレベルの分類**
- I 大規模ランダム化比較試験の結果から得られたエビデンス
 - II 大規模ランダム化比較試験の結果から得られたエビデンス
 - III 大規模ランダム化比較試験の結果から得られたエビデンス
 - IV 大規模ランダム化比較試験の結果から得られたエビデンス
- 推奨度の分類**
- A 行方不明なエビデンスから得られたエビデンス
 - B 行方不明なエビデンスから得られたエビデンス
 - C 行方不明なエビデンスから得られたエビデンス
 - D 行方不明なエビデンスから得られたエビデンス
 - E 行方不明なエビデンスから得られたエビデンス

痤瘡(面皰)に漢方療法は有効か?	荊芥連翹湯 C1
痤瘡(炎性皮膚)に漢方療法は有効か?	荊芥連翹湯 C1 清上防風湯 C1 十味敗毒湯 C1



ニキビの種類と特徴

- 面皰**
皮脂の過剰分泌
→ 毛穴の詰まり
→ ニキビの発生
→ 炎症の毛包内行菌
- 丘疹・膿疱**
炎症性皮膚
アクネ菌による炎症
- 嚢腫/結節**
重症化がみられる
強い炎症を伴う皮膚病/結節
- 瘡癤 ケロイド**
皮膚の陥凹(陥凹性瘢痕)
発赤(炎症反応)、色素沈着

尋常性痤瘡治療ガイドライン2008抽出文献(エビデンスレベルⅢのみ掲載)

大塚幸野 漢方治療の臨床研究 荊芥連翹湯 C1 181-184, 1998.
 荊芥連翹湯 C1 181-184, 1998.
 荊芥連翹湯 C1 181-184, 1998.
 荊芥連翹湯 C1 181-184, 1998.

ツムラ荊芥連翹湯

ツムラ荊芥連翹湯 C1 181-184, 1998.

ツムラ荊芥連翹湯 C1 181-184, 1998.

荊芥連翹湯は、尋常性痤瘡治療ガイドラインで、重要

監修 日本医科大学 准教授 幸野 健

尋常性痤瘡治療ガイドライン2008¹⁾

痤瘡治療アルゴリズム

*集簇性痤瘡や劇症型痤瘡は、病態が異なるため、本アルゴリズムには含まない。



*上記以外でも、他の治療薬が無効、

エビデンスレベルの分類

- I. システマティック・レビュー
メタアナリシス
- II. 1つ以上のランダム化比較試験
- III. 非ランダム化比較試験
(統計処理のある前後比較試験を含む)
- IV. 分析疫学的研究
(コホート研究や症例対照研究)
- V. 記述研究
(症例報告や症例集積研究)
- VI. 専門委員会や
専門家個人の意見

推奨度の分類

- A 行うよう強く推奨する
(少なくとも1つの有効性を示すレベルIもしくは良質のレベルIIのエビデンスがある)
- B 行うよう推奨する
(少なくとも1つ以上の有効性を示す質の劣るレベルIIIか良質のレベルIIIあるいは非常に良質のIVのエビデンスがある)
- C1 良質な根拠は少ないが、選択肢の一つとして推奨する
(質の劣るIII-IV、良質な複数のV、あるいは委員会が認めるVIのエビデンスがある)
- C2 十分な根拠がないので(現時点では)推奨できない
(有効のエビデンスがない、あるいは無効であるエビデンスがある)
- D 行わないよう推奨する
(無効あるいは有害であることを示す良質のエビデンスがある)

痤瘡(面皰)に漢方療法は有効か?

荊芥連翹湯 C1

痤瘡(面皰)に対して、他の治療が無効、あるいは他の治療が実施できない状況では、荊芥連翹湯を選択肢の一つとして推奨する。

痤瘡(炎症性皮膚疹)に漢方療法は有効か?

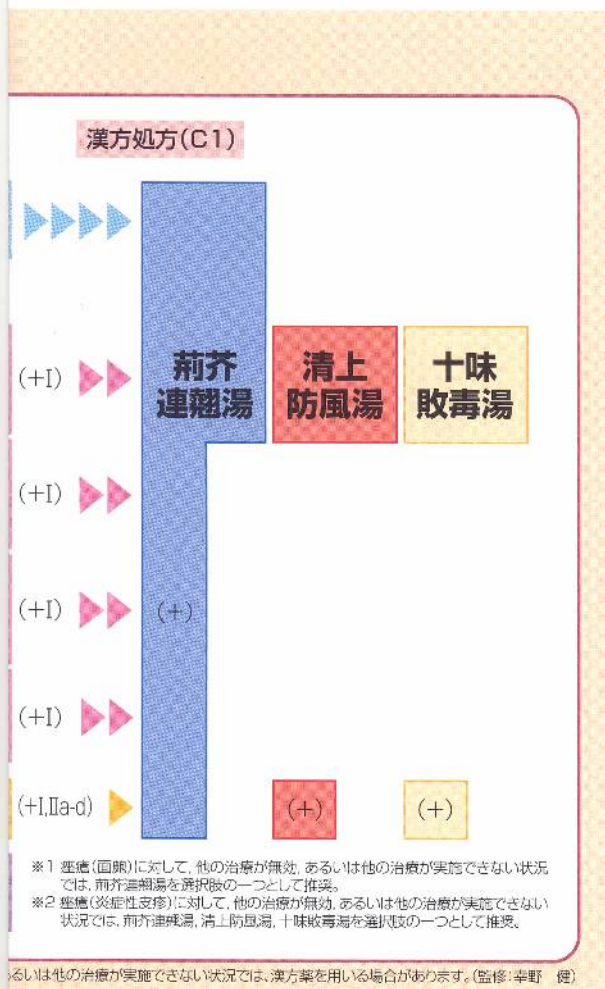
荊芥連翹湯, 清上防風湯, 十味敗毒湯 C1

痤瘡(炎症性皮膚疹)に対して、他の治療が無効、あるいは他の治療が実施できない状況では、荊芥連翹湯、清上防風湯、十味敗毒湯を選択肢の一つとして推奨する。

1) 林 伸和ほか, 日本皮膚科学会誌, 2008, 115(10), p.1893-1923. 改変

53

な選択肢の一つとして推奨されています。



ニキビの種類と特徴

<p>面皰</p> <p>脂腺の活動性亢進</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 皮脂の分泌増加 ▶ 毛包漏斗部角化、皮脂の毛包内貯留 	
<p>丘疹、膿疱</p> <p>炎症性皮膚疹</p> <p>アクネ菌による炎症</p>	
<p>囊腫/結節</p> <p>重症な例でみられる強い炎症を伴う囊腫/結節</p>	
<p>瘢痕/ケロイド</p> <p>皮膚の陥凹(陥凹性瘢痕)、隆起(肥厚性瘢痕)、色素沈着</p>	

症例写真提供：明和病院にきびセンター 黒川一郎先生

尋常性痤瘡治療ガイドライン2008掲出文献(エビデンスレベルⅢのみ抜粋)

大熊守也:尋常性痤瘡の漢方内服・外用併用療法, 和漢医薬学会誌10:131-134,1993.

橋本喜夫, 松尾忍, 飯塚一:痤瘡に対する荊芥連翹湯の使用経験, 第12回皮膚科東洋医学研究会記録 p46-53,1994.

堀口裕治, 松本いづみ, 唐崎健一郎:尋常性痤瘡に対する清上防風湯エキス顆粒・多剤併用療法の治療効果, 皮紀要92:407-412,1997.

関連文献の紹介

50 ツムラ荊芥連翹湯 エキス顆粒(医療用) (薬価基準収載) について

ケイ ガイ レン ギョウトウ

効能又は効果 蓄膿症、慢性鼻炎、慢性扁桃炎、にきび

参考 (使用上の注意)※ 1) 顔面、咽喉、上気道などに発する慢性的炎症性諸疾患。

※監修:大塚恭男

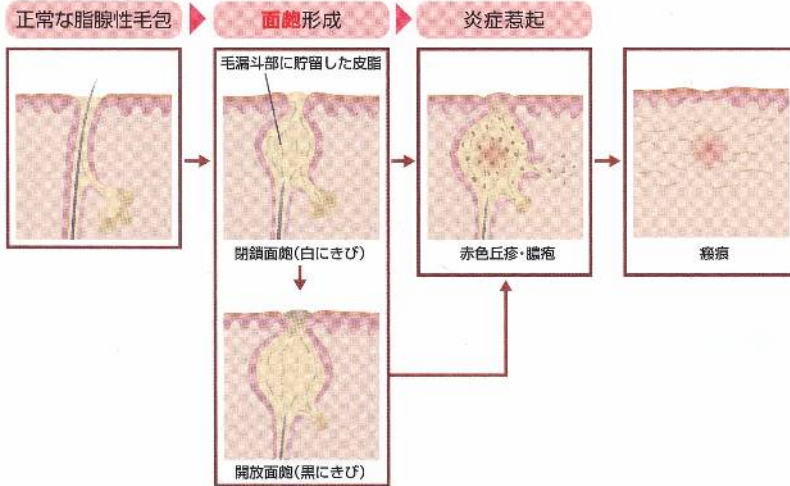
ツムラ荊芥連翹湯エキス顆粒(医療用)、ツムラ清上防風湯エキス顆粒(医療用)、ツムラ十味敗毒湯エキス顆粒(医療用)の詳細は、製品添付文書をご参照下さい。

尋常性痤瘡 (ニキビ)の 病態



脂腺性毛包に
多発的に生じる
慢性炎症性疾患

脂腺性毛包



■使用上の注意等の改訂には十分ご留意下さい。

50 ツムラ 荆芥連翹湯

効能又は効果
蓄膿症、慢性鼻炎、慢性扁桃炎、にきび

組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.5gを含有する。

日局 オウゴン(黄芩)…1.5g	日局 シャクヤク(芍薬)1.5g
日局 オウバク(黄柏)…1.5g	日局 センキュウ(川芎)1.5g
日局 オウレン(黄連)…1.5g	日局 トウキ(当帰)…1.5g
日局 キキョウ(桔梗)…1.5g	日局 ハッカ(薄荷)…1.5g
日局 キジツ(枳実)…1.5g	日局 ヒヤクシ(白芷)…1.5g
日局 ケイガイ(荆芥)…1.5g	日局 ホウフウ(防風)…1.5g
日局 サイコ(柴胡)…1.5g	日局 レンギョウ(連翹)1.5g
日局 サンシシ(山柰子)1.5g	日局 カンゾウ(甘草)…1.0g
日局 ジオウ(地黃)…1.5g	

参考(使用目標=証) 監修・大塚恭男

医療用漢方製剤の適正使用に基づき重要な基本的注意に
ありますように「患者の証を考慮して投与すること」と
なっております。「効能・効果」「使用上の注意」を補充
する情報として参照下さい。

体液中程度前後の人で、皮膚の色が浅黒く、副鼻腔、
扁桃などに炎症を起こしやすい場合に用いる。
1) 顔面、咽喉、上気道などに発する慢性的炎症性
諸疾患。

使用上の注意(抜粋)

- 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること) (1)著しく胃腸の虚弱な患者〔食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等があらわれることがある。〕 (2)食欲不振、悪心、嘔吐のある患者〔これらの症状が悪化するおそれがある。〕
- 重要な基本的注意 (1)本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。(2)本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意し、異常が認められた場合には投与を中止すること。(3)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。
- 相互作用 併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
(1)カンゾウ含有製剤 (2)グリチルリチン酸及び その塩類を含有する製剤	偽アルドステロン症があらわれやすくなる。また、低カリウム血症の結果として、ミオパシーがあらわれやすくなる。 (「重大な副作用」の項参照)	グリチルリチン酸は尿細管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進されることが考えられる。

- 副作用 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。(1)重大な副作用 1)間質性肺炎：発熱、咳嗽、呼吸困難、肺音の異常等があらわれた場合には、本剤の投与を中止し、速やかに胸部X線、胸部CT等の検査を実施するとともに副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。 2)偽アルドステロン症：低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、観察(血清カリウム値の測定等)を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。 3)ミオパシー：低カリウム血症の結果としてミオパシーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、脱力感、四肢痙攣・麻痺等の異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。 4)肝機能障害、黄疸：AST(GOT)、ALT(GPT)、AI-P、γ-GTPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

(2010年10月改訂)

(2012年9月制作)

P01200 (審)

■用法及び用量 通常、成人1日7.5gを2~3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

*その他の使用上の注意等は製品添付文書をご覧ください。



株式会社 ツムラ

〒107-8521 東京都港区赤坂二丁目17番11号 <http://www.tsumura.co.jp/>
お客様相談窓口 Tel.0120-329-970

皮膚科疾患

尋常性痤瘡(ニキビ)治療における 漢方の使い分け

監修

近畿大学医学部奈良病院 皮膚科 教授 山田秀和



皮膚科疾患

尋常性痤瘡(ニキビ)治療における漢方の使い分け

監修 近畿大学医学部奈良病院 皮膚科 教授 山田秀和

▶ 尋常性痤瘡(ニキビ)に対する主な漢方4処方

慢性期の化膿傾向を伴った青年期の尋常性痤瘡、慢性扁桃炎や副鼻腔炎を伴う場合に用いられる。



にきびに

—50— **ツムラ荊芥連翹湯**
ケイ ガイ レン ギョウ トウ
 エキス顆粒(医療用) 薬価基準収載

効能又は効果 にかび、蓄膿症、慢性鼻炎、慢性扁桃炎

参考* (使用目標一症)

体力中等度前後の人で、皮膚の色が浅黒く、副鼻腔、扁桃などに炎症を起こしやすい場合に用いる。
1) 顔面、咽喉、上気道などに発する慢性的炎症性諸疾患。

初期の尋常性痤瘡に頻用される漢方薬で、炎症反応が比較的弱く、小膿疱が散発的に認められるタイプに効果を発揮する。



化膿性皮膚疾患、急性皮膚疾患の初期、じんましん、急性湿疹に

—6— **ツムラ十味敗毒湯**
ジュ ミ ハイ トク トウ
 エキス顆粒(医療用) 薬価基準収載

効能又は効果

化膿性皮膚疾患、急性皮膚疾患の初期、じんましん、急性湿疹、水虫

参考* (使用目標一症)

体力中等度の人の皮膚疾患で、患部は散発性あるいは、びまん性の発疹で覆われ、滲出液の少ない場合に用いる。

- 1) 患部に化膿を伴うあるいは化膿をくり返す場合。
- 2) 季節下部に軽度の抵抗・圧痛を認める場合。

顔面の充血性の痤瘡(面疱)。強壯の男子に多い。



にきびに

—58— **ツムラ清上防風湯**
セイ ジョウ ボウ フウ トウ
 エキス顆粒(医療用) 薬価基準収載

効能又は効果

にきび

参考* (使用目標一症)

比較的体力のある人の、顔面および頭部の発疹で発赤の強いもの、化膿しているものなどに用いる。

- 1) 青年者の面皰

桂枝茯苓丸に薏苡仁(ハトムギ)を加えたもの。月経に伴い悪化する痤瘡や皮膚の乾燥やニキビ・シミ・ソバカスなどのある場合に使用する。



比較的体力があり、ときに下腹部痛、肩こり、頭重、めまい、のぼせて足冷えなどを訴えるもの

にかび、しみ、手足のあれに

—125— **ツムラ桂枝茯苓丸加薏苡仁**
ケイ シ ブクリツガン カ ヨク イ ニン
 エキス顆粒(医療用) 薬価基準収載

効能又は効果

比較的体力があり、ときに下腹部痛、肩こり、頭重、めまい、のぼせて足冷えなどを訴えるもの
の次の諸症：月経不順、血の滯れ、にかび、しみ、手足のあれ

参考* (使用目標一症) 数種

体力中等度もしくはそれ以上の人で、のぼせて赤ら顔のことが多く、下腹部に抵抗・圧痛を訴えるなどの瘀血の症状を認め(桂枝茯苓丸の使用目標)、さらに皮膚症状がある場合に用いる。

- 1) 肌のあれ、肝斑、雀斑、疣贅などの皮膚症状を伴う場合。

(参考) 古江増隆、石井正光、夏秋穂、山田秀和、皮膚科漢方10処方(2009年4月)、皮膚科10処方 part2 一掃らぎを整える(2011年9月)、ライフサイエンス社。

※監修：大塚恭男

尋常性痤瘡(ニキビ)は日常ありふれた疾患で患者数も多い疾患です。2008年に尋常性痤瘡治療ガイドライン(日本皮膚科学会ガイドライン)が定められており、漢方治療も荊芥連翹湯など痤瘡(面皰)、炎症性皮疹において他の治療が無効、あるいは他に治療が実施できない状況の選択肢の一つとして推奨されています。皮膚科の漢方治療では皮膚表面の症状だけでなく皮膚以外の原因を根本的に是正していく考え方があり、西洋医学的治療では効果が得られない難治性症例に対しても、こうした場合、体質や病態に応じた漢方を併用することが治療の一助となります。

▶ 重症度と治療期間と主な処方、4処方の使用目安

病態分類

面皰

脂腺の活動性亢進

- ▶ 皮脂の分泌増加
- ▶ 毛穴漏斗部角化、皮脂の毛穴内貯留



丘疹、膿疱

炎症性皮疹
アクネ菌による炎症



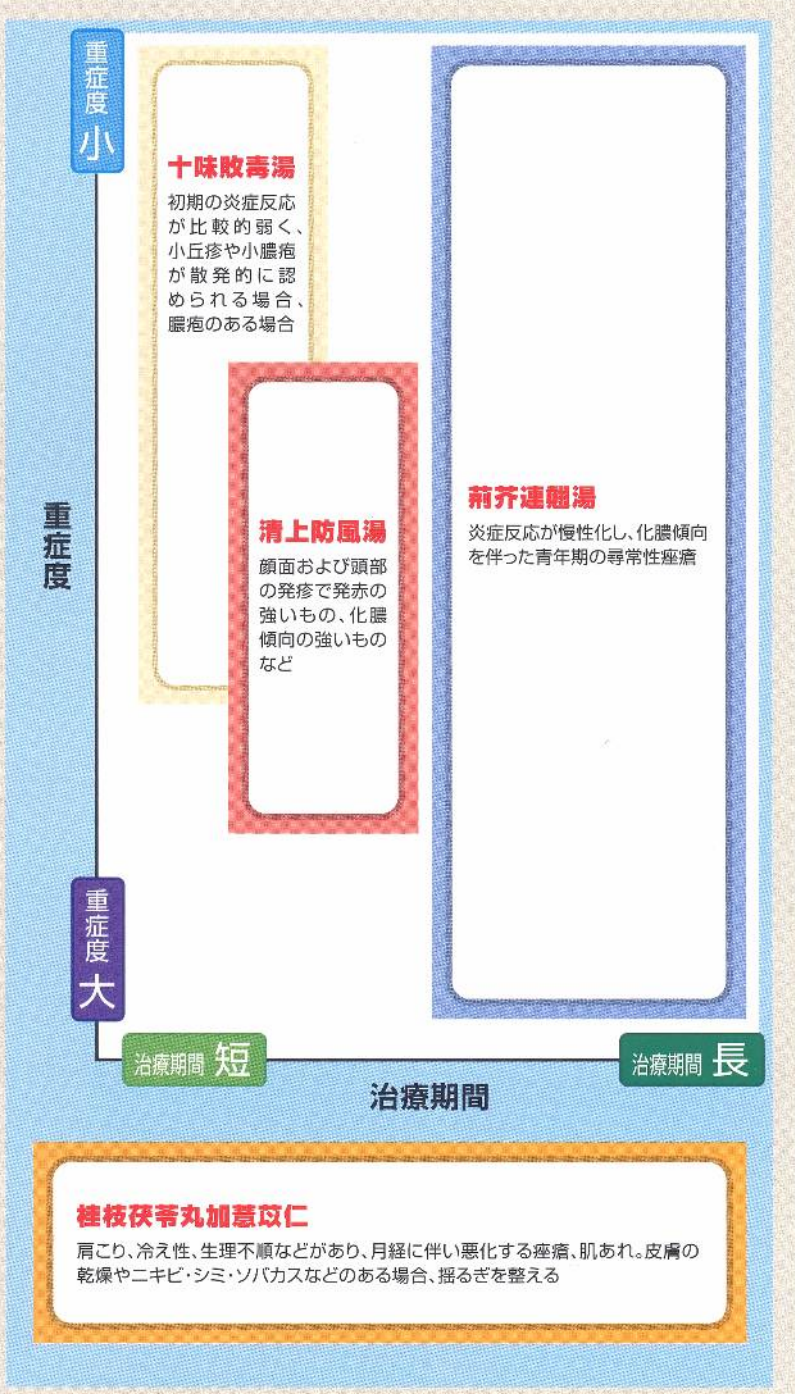
嚢腫／結節

重症な例でみられる
強い炎症を伴う嚢腫／結節



瘢痕／ケロイド

皮膚の陥凹(陥凹性瘢痕)、
隆起(肥厚性瘢痕)、色素沈着

症例写真提供：明和病院にきびセンター 黒川一郎先生

A

⑤① ツムラ荊芥連翹湯

ケイ ガイ レン キョウ トウ
エキス剤粒(医療用) (薬用基準収載)

腎臓症、慢性鼻炎、慢性扁桃炎、にきび

組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.5gを含有する。

日局 オウゴン(黄芩)……1.5g	日局 ショウキョウ(芍薬)1.5g
日局 オウバク(黄柏)……1.5g	日局 センキュウ(川芎)1.5g
日局 オウレン(黄連)……1.5g	日局 トウキ(当帰)……1.5g
日局 キキョウ(桔梗)……1.5g	日局 ハッカ(薄荷)……1.5g
日局 キジツ(枳実)……1.5g	日局 ビヤクシ(白芷)……1.5g
日局 ケイガイ(前胡)……1.5g	日局 ボクフウ(防風)……1.5g
日局 サイコ(柴胡)……1.5g	日局 レンギョウ(連翹)1.5g
日局 サンシシ(山柰子)1.5g	日局 カンゾウ(甘草)……1.0g
日局 ジョウ(地黄)……1.5g	

使用上の注意(抜粋)

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること) (1)著しく胃腸の虚弱な患者[食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等があらわれることがある。] (2)食欲不振、悪心、嘔吐のある患者[これらの症状が悪化するおそれがある。] 2. 重要な基本的注意 (1)本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。(2)本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意し、異常が認められた場合には投与を中止すること。(3)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

3. 相互作用 併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
(1)カンゾウ含有製剤 (2)グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤	偽アルドステロン症があらわれやすくなる。また、低カリウム血症の結果として、ミオパシーがあらわれやすくなる。〔「重大な副作用」の項参照〕	グリチルリチン酸は尿管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進されることが考えられる。

4. 副作用 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。(1)重大な副作用 1)間質性肺炎:発熱、咳嗽、呼吸困難、肺音の異常等があらわれた場合には、本剤の投与を中止し、速やかに胸部X線、胸部CT等の検査を実施するとともに副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。2)偽アルドステロン症:低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、観察(血清カリウム値の測定等)を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。3)ミオパシー:低カリウム血症の結果としてミオパシーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、脱力感、四肢痙攣・麻痺等の異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。4)肝機能障害、黄疸:AST(GOT)、ALT(GPT)、ALP、γ-GTPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。(2010年10月改訂)

⑥ ツムラ十味敗毒湯

ジュウ ミ ハイ トク トウ
エキス剤粒(医療用) (薬用基準収載)

化膿性皮膚疾患・急性皮膚疾患の初期、じんましん、急性湿疹、水虫

組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.5gを含有する。

日局キキョウ(桔梗)……3.0g	日局ドクカツ(独活)……1.5g
日局サイコ(柴胡)……3.0g	日局ボクフウ(防風)……1.5g
日局センキュウ(川芎)3.0g	日局カンゾウ(甘草)……1.0g
日局ブクリョウ(茯苓)3.0g	日局ケイガイ(前胡)……1.0g
日局ボクソク(麥冬)……3.0g	日局ショウキョウ(生姜)1.0g

使用上の注意(抜粋)

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること) (1)著しく体力の衰えている患者[皮膚症状が悪化するおそれがある。] (2)著しく胃腸の虚弱な患者[食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等があらわれるおそれがある。] (3)食欲不振、悪心、嘔吐のある患者[これらの症状が悪化するおそれがある。] 2. 重要な基本的注意 (1)本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。(2)本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意し、異常が認められた場合には投与を中止すること。(3)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

3. 相互作用 併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
(1)カンゾウ含有製剤 (2)グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤	偽アルドステロン症があらわれやすくなる。また、低カリウム血症の結果として、ミオパシーがあらわれやすくなる。〔「重大な副作用」の項参照〕	グリチルリチン酸は尿管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進されることが考えられる。

4. 副作用 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。(1)重大な副作用 1)偽アルドステロン症:低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、観察(血清カリウム値の測定等)を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。2)ミオパシー:低カリウム血症の結果としてミオパシーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、脱力感、四肢痙攣・麻痺等の異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。(2009年6月改訂)

⑤⑧ ツムラ清上防風湯

セイジョウ ホクフウ トウ
エキス剤粒(医療用) (薬用基準収載)

にきび

組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.75gを含有する。

日局オウゴン(黄芩)……2.5g	日局レンギョウ(連翹)2.5g
日局キキョウ(桔梗)……2.5g	日局オウレン(黄連)……1.0g
日局サンシシ(山柰子)……2.5g	日局カンゾウ(甘草)……1.0g
日局センキュウ(川芎)……2.5g	日局キジツ(枳実)……1.0g
日局ハボクフウ(防風)2.5g	日局ケイガイ(前胡)……1.0g
日局ビヤクシ(白芷)……2.5g	日局ハッカ(薄荷)……1.0g

使用上の注意(抜粋)

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること) (1)著しく胃腸の虚弱な患者[食欲不振、胃部不快感、悪心、腹痛、下痢等があらわれることがある。] (2)食欲不振、悪心、嘔吐のある患者[これらの症状が悪化するおそれがある。] 2. 重要な基本的注意 (1)本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。(2)本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意し、異常が認められた場合には投与を中止すること。(3)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

3. 相互作用 併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
(1)カンゾウ含有製剤 (2)グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤	偽アルドステロン症があらわれやすくなる。また、低カリウム血症の結果として、ミオパシーがあらわれやすくなる。〔「重大な副作用」の項参照〕	グリチルリチン酸は尿管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進されることが考えられる。

4. 副作用 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。(1)重大な副作用 1)偽アルドステロン症:低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、観察(血清カリウム値の測定等)を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。2)ミオパシー:低カリウム血症の結果としてミオパシーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、脱力感、四肢痙攣・麻痺等の異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。3)肝機能障害、黄疸:AST(GOT)、ALT(GPT)、ALP、γ-GTPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。(2007年6月改訂)

⑫⑤ ツムラ桂枝茯苓丸加薏苡仁

ケイシキ トラク トラク カンキョウ
エキス剤粒(医療用) (薬用基準収載)

比較的体力があり、ときに下腹部痛、肩こり、頭痛、めまい、のぼせて足冷えなどを訴えるものの次の諸症:月経不順、血の道症、にきび、しみ、手足のあれ

組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.75gを含有する。

日局ヨクイニン(黄芩)10.0g	日局トウニン(桃仁)……4.0g
日局ケイヒ(桂皮)……4.0g	日局ブクリョウ(茯苓)4.0g
日局ショウキョウ(芍薬)……4.0g	日局ボクソク(牡丹皮)4.0g

使用上の注意(全文記載)

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること) 著しく体力の衰えている患者[副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。] 2. 重要な基本的注意 (1)本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。(2)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

3. 副作用 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

過敏症 ^{注1)}	発熱、発赤、痒疹等
消化器	胃部不快感、下痢等

注1)このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

4. 高齢者への投与 一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。〔本剤に含まれるトウニン、ボクソクにより流産の危険性がある。〕 6. 小児等への投与 小児等に対する安全性は確立していない。〔使用経験が少ない〕 (2007年5月改訂)

(2012年9月制作) P01201

■用法及び用量 通常、成人1日7.5gを2~3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
*その他の使用上の注意等は製品添付文書をご覧ください。